

(様式3) 社会資本総合整備計画 中間評価書 (案)

計画の名称	山梨静岡交流圏域活性化計画						
計画の期間	平成22年度	～	平成26年度	交付対象	静岡県 (山梨県と連携)		
計画の目標							

山梨静岡交流圏域において、交流・連携した取組を通じて、地域の価値を高め、豊かなくらしを実感できる、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、将来にわたり交流圏の活性化を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・山梨静岡交流圏域における入込観光客の増減率 105.6% (H26)
- ・山梨静岡交流圏域における外国人観光客の増減率 116.3% (H26)
- ・景勝地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長 6.7km (H26)

定量的指標の定義及び算定式

① 山梨静岡交流圏域における入込観光客の増減率 (山梨静岡交流圏域における入込観光客の増減率) = (評価時点の年間入込観光客数) / (H20の年間入込観光客数)	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H21)	(H24末)	(H26末)							
100.0%	103.7%	105.6%								
② 山梨静岡交流圏域における外国人観光客の増減率 (山梨静岡交流圏域における外国人観光客の増減率) = (評価時点の年間外国人観光客数) / (H20の年間外国人観光客数)	100.0%	110.9%	116.3%							
③ 景勝地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長	6.7km		6.7km							
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,749 百万円	A	6,652 百万円	B	96 百万円	C	1 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.01%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期 (H20~H24)	第3期 (H25~H29)
分野名 活力・交流	分野名 活力・交流
目標名 都市・地域交通の快適性、利便性の向上	目標名 道路網の強化
指標名 —	指標名 —
目標値 (H24)	—
目標値 (H29)	—

中間評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成または完成見込 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) —: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業														全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
A1 広域連携事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 下田南伊豆線 (南伊豆町岩殿)	現道拡幅 L= 0.5km	南伊豆町					232.00	○	
1-A1-2	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 中大見八幡野線 (伊東市池)	現道拡幅 L= 1.0km	伊東市					204.00	△	H31
1-A1-3	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	電共	(主) 三島停車場線 (三島市芝本町)	電線共同溝 L= 0.5km	三島市					678.00	△	H28
1-A1-4	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 仙石原新田線 (裾野市深良)	現道拡幅 L= 0.9km	裾野市					573.00	△	H28
1-A1-5	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 御殿場大井線 (小山町竹之下)	現道拡幅 L= 0.4km	小山町					50.00	○	
1-A1-6	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 清水富士宮線 (富士宮市内房尾崎)	バイパス L= 0.5km	富士宮市					300.00	○	
1-A1-7	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 富士白糸滝公園線 (富士宮市栗倉)	現道拡幅 L= 0.8km	富士宮市					248.00	○	
1-A1-8	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 白糸富士宮線 (富士宮市青木)	現道拡幅 L= 0.2km	富士宮市					39.00	○	
1-A1-9	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(一) 下田南伊豆線 (大賀茂)	歩道整備 L= 0.4km	下田市					130.00	△	H29
1-A1-10	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(一) 手石湊線 (湊)	歩道整備 L= 0.4km	南伊豆町					55.00	△	H28

1-A1-11	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(主) 下田松崎線 (建久寺)	歩道整備 L= 0.6km	松崎町							337.00	○		
1-A1-12	道路	一般	静岡県	直接	—	国道	交通安全	(国) 414号 (河内)	歩道整備 L= 0.7km	下田市							113.00	△	H29	
1-A1-13	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(一) 韮山伊豆長岡修善寺線 (天野)	歩道整備 L= 0.3km	伊豆の国市							97.00	○		
1-A1-14	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(主) 伊東大仁線 (下畑)	歩道整備 L= 0.2km	伊豆の国市							52.00	○		
1-A1-15	道路	一般	静岡県	直接	—	国道	交通安全	(国) 469号 (北山)	交差点改良 L= 0.3km	富士宮市							107.00	△	H30	
1-A1-16	道路	一般	静岡県	直接	—	国道	交通安全	(国) 469号 (山宮)	歩道整備 L= 0.6km	富士宮市							241.00	△	H28	
1-A1-17	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	交通安全	(主) 富士富士宮由比線 (富士岡)	歩道整備 L= 0.05km	富士市							95.00	○		
1-A1-18	河川	一般	静岡県	直接	—	一級河川	拡幅	一級河川来光川 (函南町平井)	河道拡幅 L=0.5km	函南町							704.00	△	H28	
1-A1-19	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 鯉名川 (南伊豆町湊)	河道拡幅 L=0.6km	南伊豆町								593.00	△	H29	
1-A1-20	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 殿田川 (南伊豆町妻良)	河道拡幅 L=0.2km	南伊豆町								34.00	○		
1-A1-21	道路	一般	静岡県	直接	—	国道	改築	(国) 414号 (河津町逆川)	現道拡幅 L=0.3km	河津町							240.00	○		
1-A1-22	河川	一般	静岡県	直接	—	堰堤改良	奥野ダム (伊東市鎌田)	堰堤改良 N=1式	伊東市								315.00	○		
1-A1-23	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(二) 前田川 (南伊豆町湊)	水門遠隔化 N=1式	南伊豆町								110.00	○		
1-A1-24	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良	(一) 田子江川 (富士市鮫島)	河道拡幅 L=0.8km	富士市								725.00	○		
1-A1-25	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 富士停車場伝法線 (富士市香西新田)	バイパス L= 0.6km	富士市							100.00	△	H31	
1-A1-26	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 富士富士宮由比線 (富士市北松野)	現道拡幅 L= 2.9km	富士市							100.00	△	H29	
1-A1-27	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 須津東田子浦停車場線 (富士市川尻東)	現道拡幅 L= 0.6km	富士市							10.00	△	H31	
1-A1-28	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 清水富士宮線 (富士宮市内房尾崎)	バイパス L= 0.5km	富士宮市							20.00	△	H30	
1-A1-29	道路	一般	静岡県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 白糸富士宮線 (富士宮市下条)	バイパス L= 1.3km	富士宮市							50.00	△	H31	
小計 (広域連携事業)																	6,552			
合計																	6,552			
A2 海岸環境整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26					
1-A2-1	海岸	一般	静岡県	直接	—	海岸	堤防補強	清水海岸 (静岡市清水区三保)	突堤工 N=1基	静岡市							100	△	H29	
小計 (海岸環境整備事業)																	100			
合計																	100			
B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考		
										港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26					
1-B1-1	海岸	一般	静岡県	直接	—	海岸	堤防改良	東伊豆海岸 (東伊豆町熱川)	堤防改良工 L=600m	東伊豆町							96	○		
小計 (港湾・地区名)																	96			
合計																	96			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考
1-B1-1	越波などの危険性のある海岸堤防を改良し、熱川温泉街や海水浴場における観光客などに対する安全安心を向上させることにより、山梨静岡交流圏内の観光スポットとしての機能を高め、観光入れ込み客数の増加を図るとともに、地域の活性化を目指す。																			
C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考		
										港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26					
1-C1-1	広報活動	一般	静岡県	直接	—	広報活動		日本風景街道PR事業	日本風景街道大学・静岡校 開催								1	○		
小計 (港湾・地区名)																	1			
合計																	1			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考
1-C1-1	山梨、静岡両県にまたがる日本風景街道「ぐるり・富士山風景街道」のルート上に位置する「(国) 469号」の交通安全事業 (1-A1-16) とあわせて、富士山世界文化遺産登録を控え、地域における自然、歴史、文化等を活かした美しい景観を創出する「ぐるり・富士山風景街道」をはじめとした「日本風景街道」の取組を広くPRすることで、山梨静岡交流圏の地域の価値が高まり、入込観光客の増加や、将来にわたり交流圏の活性化が期待される。																			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（主）清水富士宮線（バイパス）等の道路整備を実施したことで、地域間交流がスムーズになり、結果として、静岡と山梨間の交流の活性化につながった。</li> <li>・前田川の水門遠隔化整備を実施したことで地震時による津波発生時には安全かつ迅速に水門の開閉操作を行えるようになり、観光客に安全感を与え、拠点施設である下賀茂温泉の観光地を含む全体の魅力向上につながった。</li> <li>・東伊豆海岸の堤防嵩上げを実施したことにより、高波浪による越波等の被害を防止することで、背後の県道の安全な交通を確保するとともに、熱川温泉街を含む地域全体の魅力向上につながった。</li> </ul>			
------------------------------	---	--	--	--

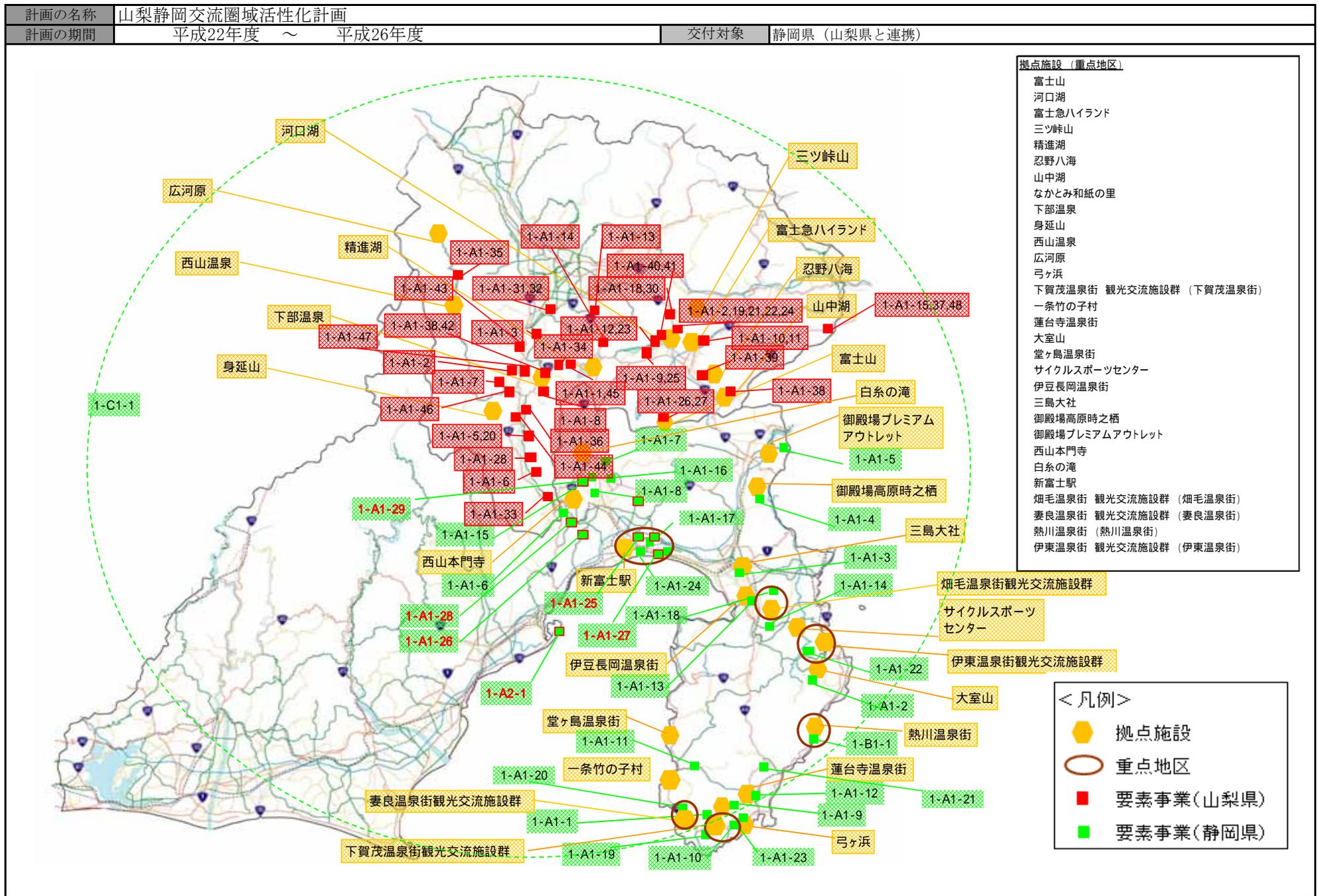
定量的指標の達成状況	指標①（山梨静岡交流圏域における入込観光客の増減率）	中間目標値	103.7%	目標値と実績値に差が出た要因	満足度日本一の観光地づくりに、県として取り組んできた成果が表れた。交付対象事業の整備による効果もその一躍を担ったと考えられる。
		中間実績値	105.6%		
	指標②（山梨静岡交流圏域における外国人観光客の増減率）	中間目標値	110.9%	目標値と実績値に差が出た要因	平成23年の東日本大震災により、外国人観光客が著しく減少しており、その後、回復傾向にあるものの、平成24年度時点では、当初目標値を下回っている。しかし、平成25年度時点での数値では、目標を上回っていることから、順調にいけば、最終年度での目標達成は可能と考えられる。
		中間実績値	108.1%		
	指標③（景勝地の防護に必要な浜幅が確保されている海岸線の延長）	中間目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値			

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨、静岡両県にまたがる日本風景街道「ぐるり・富士山風景街道」をはじめとした「日本風景街道」の取組を広くPRし、結果として、地域の価値を高めることができたことから、今後の入込観光客の増加や、将来にわたり交流圏の活性化が期待される。</li> </ul>
--------------------------------------	--

3. 特記事項（今後の方針等）

平成25年6月の富士山世界遺産登録を受けて、今後のさらなる交流圏の活性化が期待される。
---

(様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)



# 事業効果の発現状況(例)

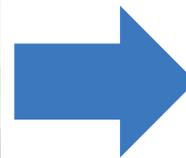
## 基幹事業(広域連携事業(道路))

静岡市清水地域と富士宮地域とを結ぶ(主)清水富士宮線(富士宮市内房尾崎)のバイパスが平成24年10月に開通したことで、すれ違い困難な個所が改善され、地域間の交通がよりスムーズに流れるようになり、結果として交流圏の活性化に寄与しています。

(主)清水富士宮線(富士宮市内房尾崎)



現道



バイパス

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

# 事業効果の発現状況(例)

## 基幹事業(広域連携事業(河川))

(二)前田川の水門の遠隔化を実施することで観光客の安全を確保し、安心感を与えることで観光地全体の魅力向上に資することができました。

### (二)前田川(南伊豆町湊)



下流より水門を見る



上流より水門を見る



観光施設



下田土木事務所(遠方監視制御版)

# 事業効果の発現状況(例)

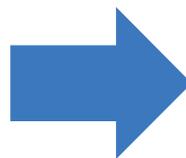
## 関連社会資本整備事業(海岸環境整備)

熱川温泉街が隣接する東伊豆海岸では、高波浪により越波や石が打ち上げられるなどの被害が発生し、背後の県道の交通規制を余儀なくされていたが、堤防嵩上げを実施することにより、拠点施設である熱川温泉街の観光地を含む、地域全体の魅力向上に資することができました。

### 東伊豆海岸(賀茂郡東伊豆町熱川)



台風9号(H19.9.6)来襲時の越波被害の状況



堤防嵩上げ工事完了後の状況

# 事業効果の発現状況(例)

## 効果促進事業(日本風景街道大学 ふじのくに静岡校)

- ・ 「日本風景街道」に関わる地域の思いと誇りを長く持ち続けられる制度にするため、日本風景街道の取組の自立・充実・飛躍を目指して、「日本風景街道大学・ふじのくに静岡校」を平成26年2月14日(金)、15日(土)に開催した。  
(全国各地から行政関係者、NPO、大学の研究者等、約170名が参加)
- ・ 「心(人に関わること)」、「技(拡大・充実の知恵と技術)」、「体(日本風景街道の制度)」の3つのテーマに関して、各地で活動されている方々からの話題提供を元に、全員参加型で車座会議を実施し、成果と課題、連携と自立などに関して議論を実施した。
- ・ 本県からは、会議で本県の日本風景街道の取組の報告・PRを行うとともに、ワークショップで「駿河2峠6宿風景街道」及び静岡・山梨両県に跨る「ぐるり・富士山風景街道」をテーマ事例として紹介し、より良い取組としていく上での貴重な意見を得た。
- ・ 今後、日本風景街道大学で得られた知見、全国的な制度の改善・充実等を取組に活かし、地域と連携した美しい道路景観の創出を図ることで、山梨静岡交流圏域の地域の価値の向上や、将来にわたる交流圏の活性化への寄与が期待される。

富士山周辺の道路活用探る静岡  
 自治体関係者ら討論  
 全国の行政、市民団体、企業関係者が道路を生かした地域活性化や景観を討論する「日本風景街道大学」が14日、県庁で開かれた。NPO法人日本風景街道コミュニティが富士山の世界遺産登録を記念して本県で開催し、富士山周辺の道路活用法などを議論した。国土交通省や県内の関係者らも参加した。同日、県庁で開かれた。NPO法人日本風景街道コミュニティが富士山の世界遺産登録を記念して本県で開催し、富士山周辺の道路活用法などを議論した。国土交通省や県内の関係者らも参加した。

同日、県庁で開かれた。NPO法人日本風景街道コミュニティが富士山の世界遺産登録を記念して本県で開催し、富士山周辺の道路活用法などを議論した。国土交通省や県内の関係者らも参加した。

同日、県庁で開かれた。NPO法人日本風景街道コミュニティが富士山の世界遺産登録を記念して本県で開催し、富士山周辺の道路活用法などを議論した。国土交通省や県内の関係者らも参加した。

同日、県庁で開かれた。NPO法人日本風景街道コミュニティが富士山の世界遺産登録を記念して本県で開催し、富士山周辺の道路活用法などを議論した。国土交通省や県内の関係者らも参加した。

新聞記事(H26.2.15静岡新聞)

立・充実・飛躍をめさして



知事あいさつ



1日目(車座会議)の様子



2日目(ワークショップ)の様子

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部